



ストップ温暖化センターみやぎが創立20周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。また、日頃から、本県の環境行政の推進にご理解、ご協力を賜り、この場をお借りいたしまして、厚くお礼申し上げます。

貴センターは、平成12年に、全国初となるNGOの運営による地球温暖化防止活動推進センターとして本県の指定を受け、以降、県内における地球温暖化対策に関する普及啓発及び地球温暖化防止に寄与する活動の促進に取り組んでこられました。これまで、貴センターの運営及び事業にご尽力された関係者の皆様方に対し、深く敬意を表する次第であります。

さて、環境を巡る問題は、身近な地域から地球規模にまで広がりを見せています。昨年10月には令和元年東日本台風の豪雨により、本県も大きな被害を受けました。豪雨や猛暑などの異常気象が世界各地で頻発する中、特に地球温暖化対策については、令和元年12月にスペインで開催されたCOP25（気候変動枠組条約第25回締約国会議）において脱炭素化に向けた取組の強化が議論されました。本県においても、「宮城県地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に掲げる2030年度までの削減目標31%の確実な達成を期すとともに、脱炭素社会の構築に向けて、地産地消型エネルギーの導入拡大、住宅・建築物の省エネ化推進、脱炭素型ビジネスモデルの推進、水素エネルギーの普及拡大及び環境エネルギー関連産業の振興などの取組を総合的かつ計画的に推進しているところです。

その一方で、本県の温室効果ガスの排出量は、依然として東日本大震災前を上回っているほか、気候変動への適応、人口減少社会における地方創生に向けた地域循環共生圏の形成への対応及び2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す取組の推進など、これまでの政策・施策の継続に加え、新たに取り組んでいく必要がある課題も顕在化しているところです。

このような中、貴センターにおかれましては、宮城県地球温暖化防止活動推進員の活動支援や、学校及び町内会等における環境学習をはじめ、イベントなどにおける体験ブース出展や地球温暖化に関するワークショップの開催等により、県民に対する地球温暖化対策の普及啓発や環境情報の発信に努められ、本県の地球温暖化対策に関する施策の後押しをさせていただいております。このたびの創立20周年を契機に、本県の地球温暖化対策の更なる促進に向け、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、ストップ温暖化センターみやぎのますますのご発展と、皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和2年12月
宮城県知事 村井 嘉浩